

様式第 1 号

令和 3 年 6 月 2 9 日

山口県知事 村岡 嗣政 殿

〔設置者の名称〕

学校法人山口コア学園

〔代表者の役職〕

理事長 神山 恵美子

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	山口コアカレッジ
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u>)
大学等の所在地	山口県山口市富田原町 2-23
学長又は校長の氏名	校長 古谷 修一
設置者の名称	学校法人山口コア学園
設置者の主たる事務所の所在地	山口県山口市富田原町 2-23
設置者の代表者の氏名	理事長 神山 恵美子
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

☐ 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

☒ 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

☒ この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

☒ 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

☒ 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

☒ この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り

消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- ☒ 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局 平山浩司	083(932)0118	hirayama@yc-c.ac.jp
第2号の1	事務局 平山浩司	083(932)0118	hirayama@yc-c.ac.jp
第2号の2	事務局 平山浩司	083(932)0118	hirayama@yc-c.ac.jp
第2号の3	教務部 片岡陽子	083(932)0118	kataoka@yc-c.ac.jp
第2号の4	教務部 片岡陽子	083(932)0118	kataoka@yc-c.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（☒）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- ☒ 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- ☐ 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- ☒ 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- ☒ 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- ☒ 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード	H135310000148	学校名	山口コアカレッジ
設置者名	学校法人山口コア学園		

Ⅰ 直前３年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入 (A)	経常支出 (B)	差額 (A) - (B)
申請前年度の決算	392, 796, 969円	381, 446, 580円	11, 350, 389円
申請２年度前の決算	399, 641, 321円	410, 840, 192円	-11, 198, 871円
申請３年度前の決算	419, 286, 133円	416, 977, 592円	2, 308, 541円

Ⅱ 直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産 (C)	外部負債 (D)	差額 (C) - (D)
申請前年度の決算	1, 027, 068, 215円	49, 233, 684円	977, 834, 531円

Ⅲ 申請校の直近３年度の収容定員充足率の状況

	収容定員 (E)	在学生等の数 (F)	収容定員充足率 (F) / (E)
今年度（申請年度）	220人	165人	75%
前年度	230人	141人	61%
前々年度	230人	153人	66%

（Ⅱの補足資料）「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算 における金額
流動資産	現金・預金	924, 768, 215円
固定資産	有価証券	102, 300, 000円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算 における金額
流動負債	未払金	8, 651, 834円
固定負債	長期未払金	40, 582, 300円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A４とする。

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	山口コアカレッジ
設置者名	学校法人山口コア学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (工業)	IT エキスパート科 IT スペシャリストコース	夜・通信	1755 時間	240 時間	
	IT エキスパート科 画像クリエイイトコース	夜・通信	1515 時間	240 時間	
	IT・ビジネス科 IT エンジニアコース	夜・通信	1365 時間	160 時間	
	IT・ビジネス科 ビジネス IT コース	夜・通信	1050 時間	160 時間	
専門課程 (商業実務)	医療ビジネス科	夜・通信	1305 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山口コアカレッジ
設置者名	学校法人山口コア学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市長	2020/4/1～ 2022/3/31	組織運営体制への チェック体制
非常勤	市議会議長	2020/4/1～ 2022/3/31	組織運営体制への チェック体制
(備考) 学外理事 計4名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山口コアカレッジ
設置者名	学校法人山口コア学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
① 作成過程 教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき、作成したものを体系的にまとめ、科目間の関連を明確化している。 ② 作成・公表時期 全ての授業科目担当教員から2月末までに提出させたものを取りまとめ、毎年度当初(4月)までに学生に配布等の公表をしている。 ③ 成績評価 各学年の前期、後期ごとに実施	
授業計画書の公表方法	https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
成績評価は、学則第13条により、各授業担当教員が学生の出席を把握のうえ出席率が3分の2以上の者を対象に行う。 評価方法は授業計画(シラバス)に明記され、試験・課題・出席状況・授業態度の観点から点数化し、これらの評価項目の総合評価で、優・良・可・不可の標語を用いて表している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価を100点満点で点数化し、学科単位で全科目の合計点及び平均値をとることで算出する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校の教育理念・教育方針に基づき、下記の能力を身に付けたものに卒業を認定する。 ・ 業界で求められる実践的な専門知識と技術を身に付けている ・ 社会のニーズに柔軟に対応し、主体的に知識や技術の習得に励む ・ 高い職業意識を持ち、地域・社会に貢献できる	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	山口コアカレッジ
設置者名	学校法人山口コア学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf
財産目録	https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf
事業報告書	https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf
監事による監査報告（書）	https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf

2. 教育活動に係る情報

①-1 学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		専門課程		IT エキスパート科 IT スペシャリストコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	3400 単位時間／単位		1100 単位 時間	540 単位 時間	1760 単位 時間			
						単位時間	単位時間		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学 生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
90 人の内数		92 人の内数	0 人	3 人の内数		4 人の内数		7 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法を講義・演習・実習等に分類し、教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 出席状況と定期試験の結果、または提出課題により評価
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業認定に必要な単位を取得していること
学修支援等
（概要） 入学時オリエンテーション、チューター制度、ホームルーム、個別面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	0 人 (0%)	12 人 (92.3%)	1 人 (7.7%)
（主な就職、業界等） システムエンジニア、Web エンジニア、スマートフォンエンジニア、ネットワークエンジニア、組込みエンジニア、プログラマー など			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、模擬面接指導、ビジネスマナー講習、ビジネスファッション講習など			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・応用情報技術者（国家資格） ・IT パスポート試験（国家資格） ・Java プログラミング能力認定 ・ウェブデザイン技能検定（国家資格） ・基本情報技術者（国家資格） ・C 言語プログラミング能力認定 ・Web デザイナー検定 - など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	1 人	7.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席管理および担任制による出席不良者本人および保護者への連絡。三者面談、個別面談の実施		

①-2 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	IT エキスパート科 画像クリエイトコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3400 単位時間	1100 単位 時間	540 単位 時間	1760 単位 時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学 生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人の内数		92 人の内数	0 人	3 人の内数	4 人の内数	7 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） 授業方法を講義・演習・実習等に分類し、教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき作成している。							
成績評価の基準・方法							
（概要） 出席状況と定期試験の結果、または提出課題により評価							
卒業・進級の認定基準							
（概要） 進級・卒業認定に必要な単位を取得していること							
学修支援等							
（概要） 入学時オリエンテーション、チューター制度、ホームルーム、個別面談等							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (71.4%)	2 人 (28.6%)
（主な就職、業界等） ウェブデザイナー、DTPデザイナー、CGクリエイター、3Dデザイナー など			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、模擬面接指導、ビジネスマナー講習、ビジネスファッション講習など			

(主な学修成果（資格・検定等）) ・基本情報技術者（国家資格）・ITパスポート試験（国家資格） ・Webデザイナー検定 ・CGクリエイター検定 ・Illustrator、Photoshop 検定 ・色彩検定 ・ウェブデザイン技能検定（国家資格） など
(備考)（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席管理および担任制による出席不良者本人および保護者への連絡。三者面談、個別面談の実施		

①-3 学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		専門課程	I T ・ ビジネス科 I Tエンジニアコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2280 単位時間	812 単位 時間	455 単位 時間	1013 単位 時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		43 人の内数	0 人	3 人の内数	3 人の内数	6 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法を講義・演習・実習等に分類し、教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 出席状況と定期試験の結果、または提出課題により評価
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業認定に必要な単位を取得していること
学修支援等
（概要） 入学時オリエンテーション、チューター制度、ホームルーム、個別面談等

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (80%)	1 人 (20%)
（主な就職、業界等） アプリエンジニア、システムエンジニア、プログラマー、システムオペレーター、カスタマーエンジニア など			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、模擬面接指導、ビジネスマナー講習、ビジネスファッション講習など			

(主な学修成果（資格・検定等）) ・ 応用情報技術者（国家資格） ・ 基本情報技術者（国家資格） ・ IT パスポート試験（国家資格） ・ Java プログラミング能力認定 ・ C 言語プログラミング能力検定 ・ Word、Excel、Access 検定 ・ Web クリエイター検定 など	
(備考) (任意記載事項)	

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	2 人	22.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席管理および担任制による出席不良者本人および保護者への連絡。三者面談、個別面談の実施		

① -4 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	I T・ビジネス科 ビジネス I Tコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2280 単位時間	812 単位 時間	455 単位 時間	1013 単位 時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		43 人の内数	0 人	3 人の内数	3 人の内数	6 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業方法を講義・演習・実習等に分類し、教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき作成している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 出席状況と定期試験の結果、または提出課題により評価	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 進級・卒業認定に必要な単位を取得していること	
学修支援等	
（概要） 入学時オリエンテーション、チューター制度、ホームルーム、個別面談等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	8 人 (80%)	2 人 (20%)
（主な就職、業界等） 一般事務、経理事務、OAオペレーター、企画スタッフ、インストラクター、営業・販売スタッフ など			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、模擬面接指導、ビジネスマナー講習、ビジネスファッション講習 など			

(主な学修成果（資格・検定等）) ・ Word、Excel、Access 検定 ・ ビジネス能力検定 ・ 硬筆書写検定 ・ 電卓検定 など	
・ コンピュータ会計能力検定 ・ ビジネス文書検定 ・ 日商・全経簿記検定	
(備考) (任意記載事項)	

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	2 人	16.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席管理および担任制による出席不良者本人および保護者への連絡。三者面談、個別面談の実施		

① -5 学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		専門課程		医療ビジネス科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2280 単位時間		1089 単位 時間	364 単位 時間	単位時間	単位時間	827 単位 時間	
				単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
60 人		30 人	0 人		4 人		8 人		12 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法を講義・演習・実習等に分類し、教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 出席状況と定期試験の結果、または提出課題により評価
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業認定に必要な単位を取得していること
学修支援等
（概要） 入学時オリエンテーション、チューター制度、ホームルーム、個別面談等

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 (100%)	1 人 (5.9%)	16 人 (94.1%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） メディカルクラーク（医療事務／医科・歯科）、医療秘書、薬局・薬剤師補助業務、ドクターズクラーク、一般事務 など			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、インターンシップ、模擬面接指導、ビジネスマナー講習、ビジネスファッション講習など			

(主な学修成果（資格・検定等）) ・メディカルクラーク 医科、歯科 ・調剤事務管理士 ・秘書技能検定 ・コンピュータ会計能力検定 など		・ドクターズクラーク ・医療秘書技能検定 ・Word、Excel、PowerPoint 検定
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	1 人	5.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席管理および担任制による出席不良者本人および保護者への連絡。三者面談、個別面談の実施		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
I T エキスパート科	150,000 円	600,000 円	160,000 円	その他は施設設備費 (他 教材費、資格試験受験料実費)
I T ・ビジネス科	150,000 円	600,000 円	160,000 円	
医療ビジネス科	150,000 円	600,000 円	160,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
特待生制度、授業料減額制度、遠隔地生サポート制度、家族特別減額制度 等				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
① 主な評価項目 (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生募集と受入れ (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 ② 評価委員会の構成 委員の定数・・・ 6 名 委員の選出区分・・・教育関係者、協会・団体、企業、卒業生 ③ 評価結果の活用方法 ・責任者の校長を中心として、早期に課題等を発見できる体制をつくる。 ・毎年 1～2 月頃に実施する自己評価の結果をもとに、全教職員で共通理解を図り十分に意見交換を行い、評価委員会を開催して学校改善に向けて取り組む。 ・学校の教職員自身が教育活動を常に見直し学校運営の状況を把握する。 ・学校と地域や保護者等をつないで相互の連携協力を深める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
高等学校関係者	2020/4/1～2022/3/31	教育機関関係
団体関係者	2020/4/1～2022/3/31	協会・団体
会社員	2020/4/1～2022/3/31	企業・卒業生
会社員	2020/4/1～2022/3/31	企業・卒業生

会社員	2020/4/1～2022/3/31	企業・卒業生
教育関係者	2020/4/1～2022/3/31	教育機関関係
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yc-c.ac.jp/information_pdf
--